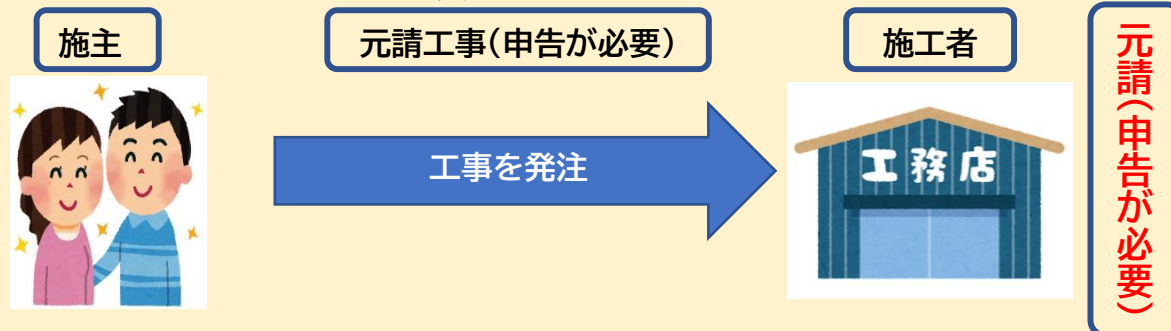


令和7年度 年度更新について(一括有期事業)

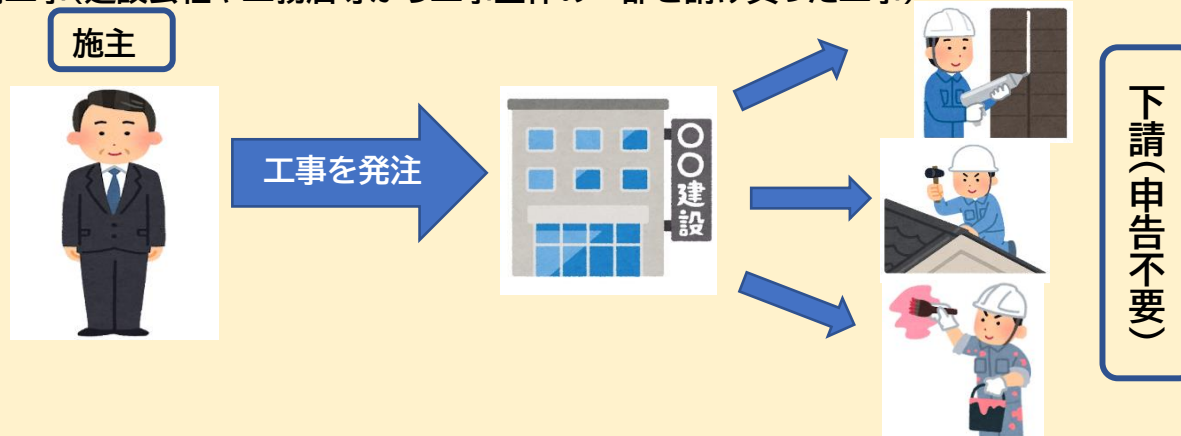
令和7年度の年度更新に係る申告について、次の①～④にご留意のうえ、報告してください。

①令和6年度中(令和6年4月1日から令和7年3月31日)に終了した元請工事を記入

○元請工事(施主(発注者から直接請け負った工事)



○下請工事(建設会社や工務店等から工事全体の一部を請け負った工事)



②消費税抜きの請負金額を記入

契約書等が消費税込みの金額となっている場合は、消費税抜きの金額を記入してください。

○消費税込みの金額から消費税抜きの金額の算出方法→「消費税込みの金額÷1.1」

③工事内容に変更があれば変更した内容を反映して記入

工事台帳、工事経歴書、総勘定元帳等関係書類により、請負代金の変更・追加、付帯工事、支給材、控除物等の有無を十分に確認し、算入漏れがないよう注意してください。

※注文者などからその事業に使用する工事用の資材などが支給されたり、機械器具等を貸与された場合、支給された価値相当額または機械器具等の損料相当額が請負代金に加算されます。

請負代金 契約金額・施主からの金銭給与	+	請負代金に加算する額 支給材の価格相当額+貸与物の賃貸料や損料相当額	-	請負代金から控除する額 下記(※)参照	=	請負金額
---	---	--	---	---	---	---

※請負代金から控除する対象工事用物は「36機械装置の組立て又は据付けの事業」の機械装置のみです。

④工事の種類ごとに記入

工事の種類ごとに記入、できる限り詳しく記入してください。

(工事の内容により保険料率が異なります。)

【記入例:○○邸外壁改修工事、××邸内装工事など】

申告誤りにより、保険料の不足が確認された場合、不足分に保険料の追加納付や追徴金(保険料の10%)の納付手続きを行っていただく必要がありますので、本パンフレットをご一読いただき、適正な申告をお願いします。